



2021年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月14日

上場会社名 シリコンスタジオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3907 URL <https://www.siliconstudio.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶谷 真一郎
 問合せ先責任者(役職名) コーポレートサービス本部長 (氏名) 佐々木 雄一 (TEL) 03(5488)7070
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第1四半期の連結業績(2020年12月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	904	△14.2	△153	—	△145	—	△161	—
2020年11月期第1四半期	1,054	△8.8	3	—	7	23.8	△8	—

(注) 包括利益 2021年11月期第1四半期 △160百万円(—%) 2020年11月期第1四半期 △8百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	△56.77	—
2020年11月期第1四半期	△2.87	—

(注) 2021年11月期第1四半期及び2020年11月期第1四半期においては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	2,622	1,294	49.0
2020年11月期	2,638	1,450	54.6

(参考) 自己資本 2021年11月期第1四半期 1,284百万円 2020年11月期 1,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年11月期	—	—	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日~2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,350	5.2	110	49.0	110	42.1	70	326.2	23.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期 1 Q	2,961,400株	2020年11月期	2,956,200株
② 期末自己株式数	2021年11月期 1 Q	90,040株	2020年11月期	90,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期 1 Q	2,843,333株	2020年11月期 1 Q	2,894,517株

(注) 株式給付信託（J-ESOP）の信託財産として資産管理サービス信託銀行株式会社が保有する当社株式25,000株は、上記自己株式に含めておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により依然として厳しい状況にあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社においては、当社が強みを持つコンピューターグラフィックス（CG）関連ビジネスに注力し、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

開発推進・支援事業においては、新たなタグライン「Ideas x Art x Technology 技術力・表現力・発想力を兼ね備えたCGソリューションプロバイダー」及びブランドメッセージを策定いたしました。

また、2月に幕張メッセで開催された「3D&バーチャルリアリティ展（IVR）」に出展し、当社が注力している「CGによる機械学習向け教師画像生成」、「点群データ活用支援」、「遠隔VRデザインレビューシステム」等の当社のソリューション・サービスをご紹介いたしました。

人材事業においては、クライアント企業、求職者の双方に満足して頂けるようサービス向上に取り組んでまいりました。

前年度より継続中の他社と協業しているコンテンツタイトルにつきまして若干の利益が発生しており、「その他」セグメントに計上しております。

なお、昨年度、当社子会社において2次下請けとして受託したゲームアセット開発案件の第2フェーズにおいて、プロジェクト進行の過程で契約範囲外の成果物制作のオーダーがあったものと認識しております。この追加オーダー分につきまして、追加費用の請求をおこなっているものの、相手先が交渉の場につく気配を示さないことから、回収可能性等を勘案し受注損失引当金繰入額91百万円を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は904百万円（前年同期比14.2%減）、営業損失は153百万円（同156百万円減）、経常損失は145百万円（同153百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は161百万円（同153百万円減）となりました。

報告セグメントの状況は、以下のとおりであります。

① 開発推進・支援事業

当第1四半期連結累計期間におけるミドルウェアライセンス販売の売上高は、評価期間の長期化等の影響により減収となりました。

受託開発の売上高は、子会社にて発生した不採算案件の影響等により減収となりました。

ネットワーク構築・運用等のサービスを提供するソリューション売上は、微増収となりました。

以上の結果、売上高は487百万円（前年同期比15.2%減）、セグメント損失は109百万円（同136百万円減）となりました。

② 人材事業

エンターテインメント業界におけるクリエイティブ人材の求人件数は回復傾向にあるものの、即戦力ニーズが高まり採用基準が厳しくなっていることに加え、緊急事態宣言の再発令以後、求職者の動きが慎重化していること等も影響し、当第1四半期連結累計期間における派遣先企業で稼働した一般派遣労働者数は延べ632名（前年同期比15.3%減）、有料職業紹介の成約実績数は67名（前年同期比18.3%減）となりました。

以上の結果、売上高は411百万円（前年同期比9.8%減）、セグメント利益は74百万円（同22.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて16百万円減少（前連結会計年度末比0.6%減）し、2,622百万円となりました。

これは主に、売掛金の減少150百万円等があったものの、仕掛品の増加126百万円、無形固定資産の増加34百万円等があったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて140百万円増加（同11.8%増）し、1,327百万円となりました。

これは主に、未払費用の減少78百万円、買掛金の減少30百万円等があったものの、受注損失引当金の増加102百万円、前受金の増加76百万円、賞与引当金の増加65百万円等があったことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて156百万円減少（同10.8%減）し、1,294百万円となりました。

これは主に利益剰余金の減少161百万円等があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比5.6ポイント減少し、49.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期の連結業績予想につきましては、2021年1月15日に公表いたしました「2020年11月期決算短信」の内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	932	958
売掛金	640	489
仕掛品	372	499
前払費用	75	81
その他	36	20
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	2,056	2,048
固定資産		
有形固定資産	118	116
無形固定資産		
ソフトウェア	53	71
ソフトウェア仮勘定	53	70
その他	13	13
無形固定資産合計	121	155
投資その他の資産	342	301
固定資産合計	582	573
資産合計	2,638	2,622

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	103	72
短期借入金	249	276
1年内返済予定の長期借入金	100	100
未払金	128	119
未払費用	117	39
前受金	154	230
預り金	29	52
未払法人税等	15	6
未払消費税等	54	52
賞与引当金	—	65
受注損失引当金	91	193
その他	0	0
流動負債合計	1,044	1,209
固定負債		
長期借入金	116	91
資産除去債務	26	26
固定負債合計	143	118
負債合計	1,187	1,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	458
資本剰余金	2,203	2,206
利益剰余金	△894	△1,055
自己株式	△322	△322
株主資本合計	1,443	1,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	△2	△1
新株予約権	9	9
純資産合計	1,450	1,294
負債純資産合計	2,638	2,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年12月1日 至2021年2月28日)
売上高	1,054	904
売上原価	679	669
売上総利益	375	234
販売費及び一般管理費	372	387
営業利益又は営業損失(△)	3	△153
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	5	8
その他	0	0
営業外収益合計	5	8
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	0
資金調達費用	—	0
その他	0	△0
営業外費用合計	1	1
経常利益又は経常損失(△)	7	△145
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7	△145
法人税、住民税及び事業税	0	0
法人税等調整額	14	14
法人税等合計	15	15
四半期純損失(△)	△8	△161
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△161

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
四半期純損失(△)	△8	△161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
その他の包括利益合計	△0	0
四半期包括利益	△8	△160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8	△160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	開発推進・支援	人材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	574	455	1,029	24	1,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	—	1
計	574	457	1,031	24	1,056
セグメント利益	27	96	123	1	125

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	123
全社費用(注)	△121
「その他」の区分の利益	1
棚卸資産の調整額等	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	開発推進・支援	人材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	487	411	898	6	904
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	—	1
計	487	412	900	6	906
セグメント利益又は損失(△)	△109	74	△34	0	△34

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△34
全社費用(注)	△117
「その他」の区分の利益	0
棚卸資産の調整額等	△1
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△153

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(新株予約権の権利行使)

2021年3月1日から2021年4月14日までの間に、第8回新株予約権について権利行使がありました。当該新株予約権の権利行使の概要は以下のとおりであります。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 行使された新株予約権個数 | 12,500個 |
| 2. 発行した株式の種類及び株式数 | 普通株式 12,500株 |
| 3. 資本金増加額 | 7百万円 |
| 4. 資本準備金増加額 | 7百万円 |